

昭和三十四年二月十三日招集
第二面市議令臨時会々議錄

2712
3.13
山崎三郎
著

昭和三十四年館山市議今第二回臨時今々議録

一昭和三十四年二月十三日午後二時館山市議今才二回臨時今
を館山市役所分館今議室に招集

一出席議員数二九名

一	番	石井	潔	二	番	望月	暉作
三	番	小沢	太助	六	番	山本	昇
七	番	遠山	ヨネ子	八	番	田村	喜兵衛
九	番	後藤	ゆり	一〇	番	山口	房治
一一	番	佐久間	為次郎	一二	番	小次	光義
一四	番	大野	清五郎	一五	番	磯辺	周雄
一六	番	鈴木	孝	一七	番	小沢	恵太郎
一八	番	鈴木	市藏	一九	番	小谷	無達
二〇	番	田中	禄郎	二一	番	吉田	勇治郎
二二	番	金木	久一	二三	番	飯田	義男

二四番 秋山 万次 二五番 菽生田七郎

二六番 田中 忠藏 二七番 黒川 佐太郎

三〇番 安西 政治 三二番 鳴貫 壮作

三三番 可世 木芳藏 三四番 高橋 文治

三五番 鳴田 繁

一次席議員數四名

四番 脇田 順一 一三番 中村 良五

二九番 松本 藤太郎 三一番 山口 康

法才二百二十一条による出席説明員

市長 田村 利男

助役 小出 武男

秘書課長 山台 潤昶

建設課長 新井 重助

厚生課長 神作 啓次郎

農産統計課長

吉田耕一

教 育 長

工藤和平

庶務課長

鶴沢貫寛

監査委員

肉 武天

一本議会の事務局長書記及び職員

事務局長

高梨清一

書

記

太田博雄

職

員

山

口晴之

昭和三十四年第二回市議会臨時今議事日程

昭和三十四年二月十三日午後二時開議

日程第一議案第三号

公平委員今委員選任につき同意を求

めるについて

才ニ

第四号

児童生徒用机腰掛の購入について

才三

第五号

起債について

日程才四 議案才六号 継続費の設定について

才五 才七号 館山市役所の位置を変更する条例制定

について

才六 才八号 昭和三十三年度館山市入支出追加更正予算

一本日の会議に付した事件

議事日程と同じ

議長(石井 潔 君) 本日の出席議員数ニ文名、これより才ニ

四市議令臨時会を開会いたします。

議長(石井 潔 君) 本議会の議案説明の為、田村市長、小出

助役、兒戸課長、新井課長、山谷課長、吉田課長、神作

課長、渡辺書記長、工藤教育長、鴉沢課長、関監

査委員以上の出席を求めましたので、報告申上げます。

議長(石井 潔 君) ついで、今議録署名員の決定を行います。

お諮りいたします。従来の例により議長へ指名により決定いたします。ご異議ございませんか。

(「異議なしと呼ぶ者あり」)

○議長(石井 潔君) 異議なしと認めます。

よって十九番議員小谷無達君、二十五番議員萩生田七郎君以上両君に決定いたします。ことに異議ございませんか。

(「異議なしと呼ぶ者あり」)

○議長(石井 潔君) 異議なしと認めます。

よって決定いたしました。

議案を配布いたします。

(「議案配布」)

○議長(石井 潔君) 今期の決定を行います。

本日議会の今期の決定につきましては、議会運営協議会

の意見は本日一日ということであります。

お諮りいたします。今期は議令運管協議会の意見
通り決定いたしますことに異議ございませんか。

(異議なしと呼ぶ者あり)

議長(石井 潔君)よって今期は本日一日と決定しました。

本日の議事はお手元に配布の日程表により逐次
上程いたします。

日程第一議案第三号を上程いたします。

(書 記 朗 読)

議案第三号 公平委員選任につき同意を求めらるについて
。秘書課長(山谷 潤昶君)館山市の公平委員は三名 小

原 諭吉さん 小宮 軍一郎さん 大島 良太郎さんとお
願いしてありましたが大島良太郎さんは今回任期满
了につき現在一人欠員で再び大島さんをお願いした

いと思ひ提案した次です。

議長(石井 潔 君) 〇異議ございませんか。

(異議なしと呼ぶ者あり)

議長(石井 潔 君) 満場一致で同意と認めます。
よって議案オ三号は決定いたします。

議長(石井 潔 君) 日程オニ議案オ四号を上程いたします。

(書目 記 朗 読)

議案オ四号 児童生徒用机腰掛の購入について
庶務課長(鶴沢貫寛君) 議案オ四号につき説明いたします。

児童生徒用机腰掛の購入は三十四年度にふえます
増員分と使用不能になりまして補充分の机腰掛
各学校のを合せたものです。 鉦山木工、安田木工

笹子工務店と三社から見積りを取りましたところ
 鉾山木工が最低で三十四万七千九百六十円ですつて
 購入契約をいたしました。児童二人用机腰掛の単
 価千五百五十円、児童一人用腰掛の単価三百五十
 円、生徒一人用机腰掛の単価千五百五十円です。
 この支払時期は三十四年交分から支払います。

二番
 分五
 日

暉作君オードに支払期日の問題ですが昭和三
 十四年度に支払うか、要するに三十四年度当初予算
 の中に入ると思うのですが、それはこの机腰掛は
 すぐ出るだろうと思うのですが支払期日について
 三十四年度に払い三十三年度ではどうして払えな
 いのかをお伺いします。

庶務課長(鶴沢貫賞君)これは新年度の使用で新年度
 の分から支払うわけですが新年度に入ってから注

文したのびは向に合いませんので注文だけは三十三
年迄に行い支拂いは三十四年迄にするわけです。

議長(石井 潔君) 〇異議ございませんか。

(異議なしと呼ぶ者あり)

議長(石井 潔君) 〇異議なしと認めます。

よって本案は原案通り決定いたしました。

議長(石井 潔君) ついで日程が三議案が五号を上程いたします。
す。

(書記朗読)

議案第五号 起債について

総務課長(完戸 貴君) 〇説明いたします。

館山市の庁舎は三ヶ年継続事業として総支出額
一億一千五百万円の予定で施行する法人びこの財

添として起債も五千万円あつて予定でございます。
 今年も五百万円は許可、内定になつております。
 で議会の議決を経まして起債の申込みを考へる
 のでございす。この起債の申請に當りまして
 は起債の議決と継続費の議決と庁舎の位置変更
 条例の議決と予算の議決書を必要書類として
 添付し、これを二月十五日までに提出する様に指示
 を受けてありますので本日こゝに提案した次オひす。
 〇三番(嶋貫壮作君)今、完戸課長が申述べられた一億一千
 五百万円、これは地所代を含んでおるのでございまして
 うか。(「含んであります」と呼ぶ者あり)庁舎をけし予
 算がすね

。総務課長(完戸 貴君)庁舎とそれから附帯した必要品。
 議長(石井 潔君)他にど質疑ございせんか。

(夏議なしと呼ぶ者あり)

○議長(石井 潔君)が夏議なしと認めます。

よって本案は原案通り決定されました。

○議長(石井 潔君)ついで日程才四議案才六号を上程いたします。

(書 記 朗 読)

議案才六号 継続費の設定について

○総務課長(寛戸 貴君)の説明をいたします。

才六号議案は地方自治法の二百三十一條の定めるところによりまして、館山庁舎建設も三ヶ年継続事業として行おうとするものゆゑ、一つの事業が二つの会計年度以上にかゝる場合はその年期间各年度の支出額を定め、議会の議決を経る必要が認めら

ますので提案いたしました次方でございます。

まず継続年度事業は昭和三十三年、四年、五年年度の
三ヶ年として総額の支出は一億一千五百万円とさ
めこの内工事費の合計は一億一千四百五十一万円
で四十九万円が事務費その他ということになって
あります。この財源は起債総額を五千万、積立
金の繰り入れを三千万一般財源を三千五百万計画
いたしたいのでございます。各年度別の計画内訳
はこの方法書によりましてご了承をお願いしたい
と存じます。

○二五番(教生田七郎君)と伺います。が三年度の
建築費の問題です。この工事費の一億一千四百五
十一万円というものが、この工事費いわゆる庁舎の附
け器備品費その他が含まれているものですか。どうで

すか。もう一つ伺いたいのは……（雑音多く聴取不能）……三千五百万円は一般財源として支出される、その結果いわゆる一般の支出金に是が非でもしを寄せと余儀なくされるのではないか、緊急的な一般経費というものはある程度減らされ非常に無理をするというようないでしようか。この点につき伺いたいします。

。建設課長（新井重助君）たゞいまのオースの質問にお答えいたします。

この三ヶ年間の継続費の内訳等その他は本館の……（発音不明瞭につき聴取不能）……そのものとそれに付随いたします……とか電話線の配管、電話交換台は全部含めてございます。今詳細の内容はどのようなかはちよつとわかりませんので

了承願いたいと思ひます。

○助役小出武男君ミノ年間一般賦課として三千五百万
 円のものを入するのどその結果一般予算に
 わ寄せがくるのではないかというの質問ですが今年
 度予算につまましてはたど今計数整理の段階
 に入っておりまして私が最初から頭を痛めて
 あり必要経費優先をモットーとして編成し一
 応線は、つくりし^{可系則}たのでいざうちに
 議今において審議になるかと思ひます。私が
 もの考え方は今申しました極端なものであり
 ます。ことを了承願いたいと思ひます。

○二五番萩生田七郎君極端なわ寄せはないんかと
 若干あるだろうが……発音不明瞭につき聴取不能
 ……という見通しだと解釈してよろしいですか。

。助役（小出武男君）でようでございす。

。大番（山本 昇君）ミケ年計画問題でこれに伴い支

出方法書です。起債の額について一々お聞きました

いと思ひます。三十三年度の五百万円が内定に

なり。という、た方法というようなお話しですが三十四

年における三千五百万、三十五年の一千万の見通

しについてのお考えをお伺いしたい。もう一つミケ

年間をわたり一応一つの工事費にしてもあるい

は起債の面についてもうして具体的にきめて

あります。いろいろやった場合もし予定通りに

いへないときまたあらためてという、たものを更に

……（雑音多く聴取不能）……合せてお聞きたい

と思ひます。

。助役（小出武男君）起債を一応五千万円に推定しての申請

りす。この点につきましては今後の努力があるわけ
 で一応本年年度の起債の申見通しにつきまして三
 千五百万という方は確定の分でございます。その
 後幾分かの折衝が続けております。もう一千五
 百万の増額を目標としてやっております。これも三
 算の一つの操作といえまして三十三年度四年
 度と二ヶ年間にやりますことは起債の獲得に
 不合理な点がございますので本年五百万円を
 増額して三千五百万としてさらに一千万円だけ
 を三十五年年度にのばしたのでありますが折衝の方法が
 非常にやり良いのでかような考え方にしたので
 す。大体見通しとしては三千五百万の起債は予
 想できるような気がします。は、さきり申上げ
 られません。更に三十五年年度の一千万が今後和ども

の努力により全カを上げてこの額を獲得したいと考えてあります。オニオのこの計画に変更がある場合かどうかという質問ですが、それが更に明記した金額と増減が起ってくると思います。増加した場合にはあらためて皆さんのご議決をいただきたいと思います。

議長（石井 深君）他にご質疑ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

議長（石井 深君）よって本案は採案通り決定いたしました。

議長（石井 深君）次いで日程才五議案才七号を上程いたします。

（書曰 記 朗 読）

議案オ七号 館山市役所の位置を変更する条例制定について
 総務課長(完戸 貴君)の説明をいたします。

館山市役所の現在の位置は昭和十四年十一月三日の告示により北条の千八十七の一同千八十七の三、同千八十八の一に置いてございますが今回この位置を北条の千四十五番地の一に変更するものでございます。最初
 は庁舎が完成してから移転するところにこの位置の変更の議決をお願いする考えでしたが庁舎起債を修正するにはこの位置を変更するといふ条例制定の議案がなければならぬことになりましてそれで提出した次第ですので施行期日は別にその時規則で定めて決定したいと考えております。(要議な点と呼ぶ者あり)

議長(石井 潔君)これより議案オ七号の採決を行います。

念の爲申上げます。本案採決に關しましては
地方自治法才四條才三項の規定により出席議員
の三分の二以上の多数の議決を團要しますので本
案採決は起立により行います。
本案賛成の諸君のが起立を求めます。(全員起立)
満場一致可決いたしました。

議長石井 潔君 ついで日程才大議案才ハ号を上程いたし
ます。

(書 記 朗 読)

議案才ハ号 昭和三十三年度館山市才入才出追加更正予算
。厚生課長神作啓次郎君 歳出九款の保健衛生費ニ十二
節の委託料六千三百円はジフテリア患者が^(増)発生
した爲に計上しました。

五項の結核予防費一目的の需要費は最初の見通し
 ですと間接精密撮影に当り見込み違いがありました
 て十五万七千三百円を更正いたしました。七項の火
 葬場費一二節の消耗品費四千五百円はドロ、骨
 つめ、骨受りの代でございます。一二節燃料費一
 万八千円は火葬用の燃料費千三百リッターを願
 いいたしました。九項の環境衛生
 費三三節負担金補助及び交付金でございます。が
 新生活運動優良実践団体の補助金として西町
 内へ一万一千円、北条小学校に一万円交付され
 るのでございます。一一項の清掃費九節賃金十二
 万六千五百円は清掃人夫が八月に三名増員した
 為に不足をいたしましたので計上いたしました。一九
 節の手数料二千円は糞尿汲取料共同便所の

汲取料が不足いたしましたので計上しました。　　いゝぞよろしくお願ひいたします。

。総務課長（完戸　貴君）一三款へ選挙費につき説明申上げます。

選挙管理委員会の経費として賃金筆翻訳料一万二千円計上しましたがこれは来る四月に行われまゝ選挙に備える為の名簿その他^調の整に要する費用でございます。二項の選挙啓発費として五万円計上しましたが今回県から選挙啓発委託費として五万円参りましたので全額計上いたしました。なお四款の知事選挙につきましては二万七千二百円予算残額を生じましたのでこれを更正いたすものでございます。

。建設課長（新井　重助君）一三款庁舎建設費について説明

明いたします。

先程三十三年度の五百万を追加しまして八百六十万といたします。工事請負費五百六十六万四千円、二目の需要費で報償費より二万円を審査謝礼といたします。二二節の委託料設計監理委託料でございますがこれを五十万円減しまして工事費のうちにいたします。二四節の工事請負費は事業費に計上してございますので一目の工事費へ回し十四万四千円にいたしました。以上でございます。

総務課長(完戸 貴君)つづいて文入について説明申し上げます。

オ大款の国庫支出金としまして七万二千二百八十円を計上いたしましたがこの内二万二千二百八十円が統計調査委託金で五万円が選挙委託金でございます。

この統計調査は十二月三十一日現在で工業統計調査を実施いたしますのでこの調査委託金でございす。選挙啓発費は特別に委託金が交付されましたので計上いたしませんものびでございます。

オセ款果支出金の二万四千円は新生活運動補助金として特に交付されたので全額財源にしました。十一款市債は庁舎建設事業債として五百万円計上しましたが三十三年度において八百六十万円で工事をする予定でございす。その内今年度分として五百万円市債を計上しました。

以上支入支出五百九万三千二百八十円の更正額でございす。

○議長(石井 潔君)ご質疑でございますか。

○二五番(萩生田七郎君)市長にお伺いしたいんですが新し

い庁舎に移りますと誠に結核患者とい、ますか……（発音不明瞭につき聴取不能）……それを一つ
 そうしてもういたいと思います。これは現疾問題と
 して市更員の中には患者があります。しかし新
 しい庁舎に移る場合そういう人に完全な休養を
 与え完全な体にして出てもらいたいと思うので
 この点のお考えともう一つ重永処理費学校そ
 の他非常に重大な問題になってあります。がそれ
 についての処理方法につき学校中非常に困って
 おるので恒久的な構想を市長さんにお伺いた
 いと思います。

の厚生課長（神作啓次郎君）汲取りについての大体の構想を
 申し上げますが市内にも専属の業者が五軒あり市と
 しては市内の幼稚園小中学校当りを汲取と考え

バキュームが百五十万その他運転手及び助手二名人
件費及びため池がありますが、シヨオカソウ四ヶ所
造ることになりますとは、きり甲エザられます
べきところによりますと膨大な予算がなけれ
ば、で始めることが出来ないという大きな問題で
あります。が、相当市内の幼稚園、小中学校及びな
く一般市民まで呼びかける今後の方針というもの
を考えてみなければいけないので、十分この点に
ついては研究してみたいと思っております。以上で
す。(了承と呼ぶ者あり)

○市長(田村利男君) 課長は見込み違いという言葉を使
っており、すが見込み違いでなくて当然来る予定
の数字でして結局今の状態では結核検診をうけて
肺病の折紙をつけられることば、こわいから受けな

いという人ではなくして要するに横着と忙しいと二つの理由により受けないのが多いようで徹底的に啓蒙してうける様に努力してあります。それから新庁舎の市役所というわけではございます。それから新庁舎の市役所の吏員の結核の問題は現在胸部疾患で二人あります。これを当分医療させまして徹底的な休養を与えておりますがなお無理をした者があるとすればこれも定期的に町の医者でなく保健所の医者に健康管理をやらせてありますのでその方法をもって処置をしてあります。

〇三五番(菽生田七郎君)実は新庁舎皆入って……(発言不明瞭につき聴取不能)……十分休養期間を与えてやる。それには……あるかないかもう一回検討する必要がある。ことを私はお願いするわけです。

○議長(石井 潔君)他にど質疑ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(石井 潔君)ど異議なしと認めます。

よって本案は原案通り決定いたします。

これをもちまして議案全部議了いたします。
長時間ありがとうございました。

午後四時二十分閉会

右会議の次第を録し、に署名す。

昭和三十四年二月十三日

館山市議会議長

石井 潔

同 署名議員

小谷 兼造

同

萩生 田七郎

